

電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(10)(HP 収載)
－仮想アースへの適用(10)－

1. 始めに

前方(9)に引き続き、旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T の仮想アースへの適用を検討します。

2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴方法

これまでは PC の USB ポートにセットする NRF-005T の仮想アースへの適用を実施してきましたが、今回は PC の HDMI ポートにセットする NRF-005T の仮想アースへの適用を検討します。そのために準備したのが、DMR-UBZ1 付属の HDMI ケーブルでこれを巻いてビニルテープで止め、さらに NRF-005T を 6 ケ所貼ります。写真では見にくいのですが、幅の広いテープがビニルテープで、その他は NRF-005T です。この状態で PC の HDMI ポートに接続しても、PC は問題なく動作しました。



NRF-005T 貼りつけ HDMI ケーブル



同左 PC の HDMI ポート接続

上記の接続対象は PC の HDMI ポートで、前報(4)と同じく、PC による BPODCH の再生とハイレゾファイル音源で試聴します。

3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

PC の USB ポートには、Clone2UA 経由で電解コンデンサーと NRF-005T を貼りつけた銅板や NRF-005T を貼りつけたカードリーダーを接続していますので、いったんこれを外し、PC の HDMI ポートに NRF-005T 貼りつけ HDMI ケーブルを接続します。

PC 経由の BPODCH の再生のマーラーの 3 番では、NRF-005T を貼りつけた HDMI ケーブルを PC の HDMI ポートに接続しますと、オーケストラの音の分離が向上し、大ホールに響く低音の明瞭さが増します。

リストのピアノ協奏曲 1 番では、NRF-005T を貼りつけた HDMI ケーブルを PC の HDMI ポートに接続しますと、オーケストラの音の分離が向上し、ピアノの打鍵のインパクトが強くなり、左手の低音域の明瞭さが増します。

PC の TEAC Hi-Res Editor によるハイレゾファイル音源再生では、菊池洋子のバッハの Goldberg 変奏曲の Live Extreme による配信からの 5.6MHzDSD 録音と小川理子の 78 回転盤 Jazz の TohrensTD124 の再生からの 5.6MHzDSD 録音を再生してみました。

NRF-005T を貼りつけた HDMI ケーブルを PC の HDMI ポートに接続しますと、ともにピアノの打鍵の滲みが後退し、鋭さが出てきます。また、小川理子の方では、ベースの弾みとドラムスの切れが向上します。

以上のように、HDMI ポートにも NRF-005T の効果があり、音の変化の方向性は USB ポートに NRF-005T を貼り付けた USB メモリーの接続と同様の変化です。HDMI 専用アースケーブル経由の仮想アースの効果も試してみたいところです。

4. まとめ

NRF-005T を貼りつけた HDMI ケーブルの効果を確認しました。

以上